

2023

2

UNZEN
Destination
Marketing
Report

INDEX

- ・雲仙市への訪問客数
- ・延べ宿泊客数・構成比(会員専用)
- ・日別宿泊者数(会員専用)
- ・将来予測(会員専用)
- ・今月の特集(会員専用)
 - ①雲仙市の「食」に関する意識調査
 - ②雲仙市訪問客の年代別特性分析
- ・雲仙観光局活動報告

雲仙市観光マーケティングレポートとは

2022年4月に開局した一般社団法人 雲仙観光局では、市場環境や顧客ニーズを的確に捉え、費用対効果の高い事業を展開するため、「データに基づく観光マーケティング」を運営の柱に位置づけています。「雲仙市観光マーケティングレポート」は、その一環として、国内の多様なビッグデータから得られる雲仙市の観光実態や各種調査結果、また、雲仙観光局の取組みや提案を、皆さまにタイムリーにお届けするものです。

雲仙市の観光の“今”を知っていただきながら、事業所の経営戦略の立案をはじめ、教育機関や地域コミュニティなど、様々な場面で活用して頂くことを願っています。

雲仙市観光マーケティングレポート／2023年2月号

一般社団法人 雲仙観光局

UNZEN Destination Service

雲仙市への訪問客数 145,607人

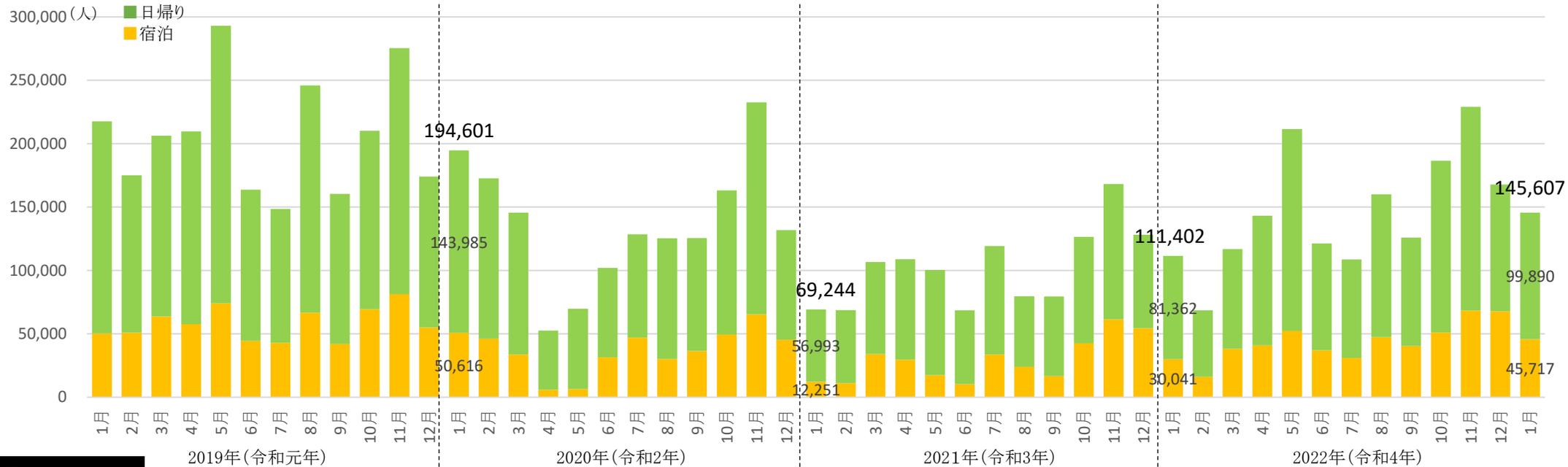
コロナ前の75%まで回復

2023年1月の訪問客数は14.6万人と前年同月比131%と増加した。帰省客が多かった12月に比べ2万人以上減少したが、コロナ前の75%の水準まで回復した。

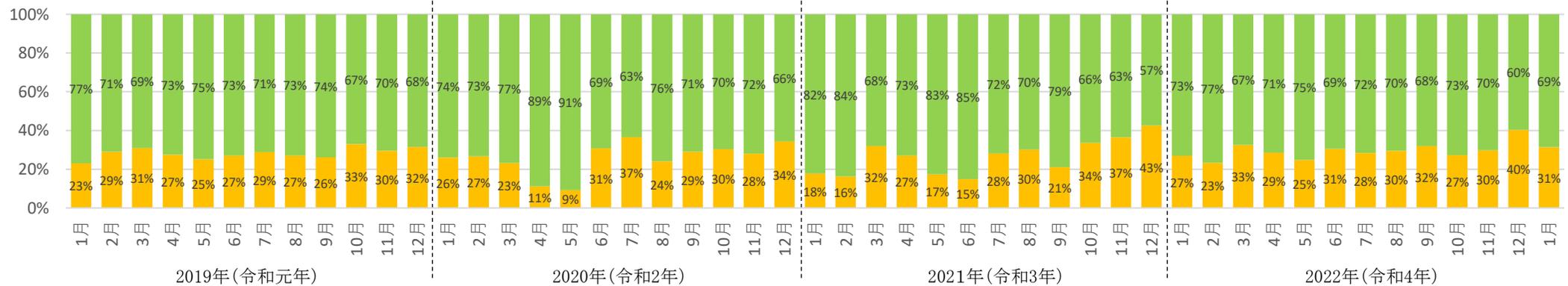
	訪問客数		
	日帰り	宿泊※	
先月比	87%	106%	68%
前年同月比(2021)	131%	123%	152%
コロナ前月比(2019)	75%	69%	90%

※延べ宿泊滞在数(例1名が2泊3日の場合は3名とカウント)

訪問客数



日帰り・宿泊構成比



≡ 今月の雲仙観光局活動報告

「アドベンチャーツーリズム」 コンテンツ開発、進行中！

雲仙観光局では、アドベンチャーツーリズムのコンテンツ開発を強力に推進しています。トレッキングやE-Bike等の各種アクティビティコンテンツを中心に、九州内のプロガイドをはじめ、九州観光機構と長崎県国際観光推進室と共にチェックを行っています。

今後もインタープリテーション全体計画を基軸に、海のコンテンツも造成しつつ、9月に北海道で開催されるアドベンチャーツーリズム世界大会に、雲仙の商品のアピールを予定しています。

※インタープリテーション全体計画とは??

「インタープリテーション」とは、地域の魅力や価値を、お客様と共有するコミュニケーションです。見ただけでは伝わりにくい、自然や風景、食や文化などが持つ価値や魅力的なストーリーをお客様と共有し、お客様と地域との間に特別なつながりをつくることを目的としています。ガイドや体験にはじまり、お客様との何気ない会話やご案内の中、また、Webサイトや印刷物、時には、料理やお土産、場のしつらえなど、さまざまな場面で、一貫したストーリーを伝えることが大切だと考え、他の地域には無い「ならではの魅力的なストーリー」を明確化し、各事業者の立場でお客様に伝えられるように整理したものを「インタープリテーション全体計画」と呼んでいます。今年度は雲仙温泉、来年度は小浜温泉、その次は、・・・という形で、雲仙市内の、誇るべき資源を、皆様と整理して参りたいと考えております。

※アドベンチャーツーリズムとは??

アクティビティを通じて地域の文化と自然を体験することで、自身の成長や変革を感じ、そして地域の経済に貢献する旅のことです。

≡ 今月の雲仙観光局活動報告

令和5年第1回合同ワーキング開催！

2023年1月19日(木)、令和5年の1回目となる合同ワーキングを開催しました。今回は次回以降に詳細な検討を行うテーマについて意見交換を行い、次のようなアイデアがまとめられました。

2月22日(水)開催の第2回合同ワーキングでテーマの絞り込みを行います。その後も、毎月第3木曜日を基本に、合同ワーキングを行って参りますので、皆さんの参加をお待ちしております！

【キーワード】

- 地元産の美味しいものを食べられるお店を発掘、創出、PR
- ご当地メニューの開発・PR(小浜ちゃんぽん・じゃがちゃんに次ぐ)
- お土産、加工品の開発・PR(地場産業の創出)
- 食×雲仙の大地の恵み×○○(例:ウェルネス、食育、福祉)
- 食・一次産業の体験創出(例:宿と連携、サイクルと連携)
- 海外対応(ハラル、ビーガン、食材の売り込み)
- 旅ナカの食の充実(例:モーニング・ランチ・食べ歩き)
- 雲仙市ならではの食材のブランド化(例:いちご、じゃがいも等)
- 食×文化の体験創出・PR(例:伝統野菜・郷土料理など)



≡ 今月の雲仙観光局活動報告



首都圏で 雲仙市の特産品 をアピール!

東京都天王洲アイルにある旬八青果雲仙市コラボ店で、野菜・蒲鉾・カステラほか様々な特産品を大々的に販売しアピールを行いました。長崎県内出身者も多く訪れられ、地元の話に花を咲かせるとともに懐かしい産品をお求めいただきました。

ポケットマルシェバイヤー 雲仙市を視察!



一次産品販売のECサイト大手「ポケットマルシェ(株式会社雨風太陽)」のバイヤーが雲仙市を訪れ、生産者と意見交換を行いました。農畜水産物に恵まれる雲仙市ですが、「天洋丸」さんの漁船を使ったグランピングや「ナチュラルファーム」さんのオリーブのオーナー制度などの新しい取り組みにも興味を持っていただきました。次年度以降も、ECサイト出展の指導・研修などに引き続き取り組んでまいります。

